

トナリ大休業認シタルヲ以テ職工側ハ第二実行委員依リ
令社ト正式会見ノ運ビヲ爲スニ至リ今時ニ加賀川ノ談費
書ヲ確定的ノモノトシテ新紙ニ及元表セリ一方令社側
上談費書ヲ以テ四半ナル成案ナシハ社長ノ意留ヲ氣シタルト
ナリテ確定的ノモノニホスト務ノ感情ノ齟齬ヲ来シ前交
渉ヲ取消シ不調ニ歸シタルモ後々兩者ノ諒解ヲ得ル前案ニ
基キ交渉ヲ継続スルコトナシリ

(六月六日)

情見 一書目

- 一 藤永田造船所内ニ於テ労働者ノ組織スル組合ヲ交渉
団体トシテ設ケル
- 二 其団体内各組織方針交渉ノ範圍及方法ニ干シテ
工場主側労働者側ヨリ相互各委員ヲ送出シ疎野調査

今更ニ組織シテ審議決定スルモノトス

職工ノ勤辭 七日職工ハ平常通り就業スル中合了
リシモ尚辭快ヲ見サル者ノ工場内ニ依リトシテ怠業氣分熾
リ唯亦三工場(職工百三十五名)ニ於テ全部就業セルノミナ
本工場ハ車輛製造工場職工(百三十五名)及ペンキ塗職工(約五
十名)ノ少数ノ半作業ニ従事セル外大多數ハ敷津分工場
ノ全員職工ト共ニ怠業ヲ継続シ就中敷津分工場ニ在リ
テハ工場以各所ニ於テ退散ナル噂ヲ繰返シ時々労働者
ヲ罵詈訾シ示威運動ヲ行フ等ノ多勢ヲ示シ令社監督者ハ
勿論其他役員委員モ接近スルヲ得ザル状態ニ在リ定刻退
社後敷津分工場職工ハ本工場職工ノ一部ヲ加ヘ約二千名ノ
隊トナリ労働者側ノ立場ニナカク本工場及永田社長自定前引
通退シ後ハ隊ヲ頭テテ場ヲ馳驅スルモノアリトモ何事ノ事